

この樹の経緯 杜松（としょう：ヒノキ科ネズ属（の数種）の盆栽界での呼び名）

- ・ 祖父が盆栽好きの友人に連れられて山取りしたものか？
- ・ その新木の段階で、１９７５年頃から私が栽培して、徐々に姿を修正
- ・ １０年以上植替えておらず、今年、高めの化粧鉢に植替えた

２０２５年５月 草取り



２０２５年６月 多めに整枝、上の土の除去、植替え（鉢：和泉屋、長角撫角ワン型上下帯）



この樹の経緯 くさぼけ

- ・拙宅で地面に植えて２０年間ぐらい懸崖に仕立てている株あり
（つくば市並木産、多数の枝を採取して挿し木で発根後に地面に移植）



- ・今年も多数の実が黄色くなったので、一部を鉢に移すことを計画
- ・１０月の盆栽東京展に行った際に、黄色の補色である青系統の鉢を探して購入
（燿山、丸深縁付、持っている常滑焼のカタログには出ていない新色、藤色？）
- ・形のよい株は少なく、多数の根が複雑に絡まっていて上手に掘れなかったので、よさそうな枝を切って挿し木のようにして固定（まだ盆栽ではなく、大変申し訳ございません）



- ・実の形や香りは、同じボケ属のカリンに似ている（採取している実の香りをどうぞ）

ひとつば

- ・高校生の頃に学校に植えられていたもので、生物の先生に言って一部を掘り上げて入手
- ・５０年ほど経過、２０年ほど前に２鉢に分割
- ・最初は葉の長さが２０ｃｍ程度であったが、徐々に小型化
（鉢の中で孢子が飛んで部分的に世代交代していたかもしれない）
- ・２０２４年４月に、それまでの駄温鉢から化粧鉢（燿山、丸深陣笠足付）に移植
（２０１１年に購入していた鉢、現在は生産していない？）